



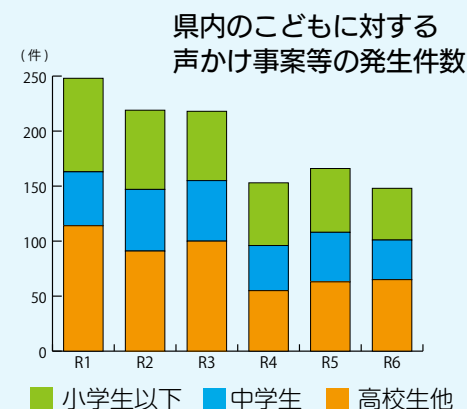
こどもたちを見守る 地域の目

こどもたちが元気に学校へと向かう朝、道すがらに優しく声をかける地域の皆さんの姿があります。

「おはよう」と何気ない言葉がこどもたちの安全を守り、地域の温かいつながりを育てています。今の特集では、こどもたちを見守る「見守り隊」の皆さんに話を伺いました。

全国各地では登下校中にこどもたちへの声かけ事案や事故が後を絶たず、福井県内でも不審者による声かけ事案が発生しています。

クマによる被害も心配される中、こどもたちが安心して学校に通えるように地域の様々な方が見守り活動を続けています。



勝山市の見守り隊

市内の見守り隊員数

390人

(7月31日現在の登録者数)

見守り隊は、交差点での安全確認、登下校時の安全確保などを行っています。

見守り隊への加入は各地区の小学校または青少年室へお問い合わせください。

「見守り活動」は青少年育成勝山市民会議をはじめ、学校や警察、そして地域のみなさんと連携して行われています。

それぞれが役割を分担しながら、まち全体でひとつの「見守る目」となってこどもたちを見守っています。

【青少年育成勝山市民会議】

見守りグッズの提供や活動の呼びかけ

【警察・学校】

危険な場所の確認や情報の共有 など

【地域の皆さん】

通学路での声かけや見守り

20年近くこどもたちを見守り続けてきた『見守り隊員』にインタビュー



和田 次泰 さん (元町3)

こどもたちの笑顔が元気の源に

地域に貢献したいとの思いで、見守り隊を引き受け、20年近く見守り隊を続けてきました。

こどもたちが安全に登校できるということはもちろんですが、私自身が毎日こどもたちから元気をもらっています。

元気にあいさつする子や私が休んだときに心配してくれたりする子、小学校を卒業しても気にかけてくれる子もいて、とてもやりがいのある活動だと思っています。

何気ない行動が見守りに！

見守り活動に特別な準備や技術は必要ありません。

一緒に登下校ができなくても大丈夫です。日々のお散歩やお庭のお手入れの時間を登下校の時間に合わせて、ちょっと外に目を向けていただくだけでもこどもたちを「見守る」活動になります。可能な範囲でのご協力をお願いします。

散歩をしながら



玄関前に立つ



自宅周辺で作業をしながら



「できる範囲で」が、大きな力になります

雨の日も雪の日もこどもたちの登下校を支えてくださる見守り隊の皆さんには、心から感謝申し上げます。教職員の手が届きにくい安全面を地域で支えていただく存在は、本当に心強いものです。

高齢化により隊員の確保が難しい地域もありますが、特別なことをしていただく必要はありません。お仕事の合間や、ご自宅の前に少し出ただけでも立派な見守りです。できる範囲の温かいお力添えを、よろしくお願いいたします。



青少年育成勝山市民会議
会長 宇佐美 宏一郎 さん

「夕方見守り運動協力店」募集中

こどもへの声かけ事案は、午後2時以降の下校時間帯に多く発生しています。

個人の「ながら見守り」以外でもお店や企業の皆さまには「夕方見守り運動協力店」として見守りフラッグやマグネットを掲げ、業務中の見守りにご協力をお願いします。

〒910-0801 勝山 青少年室 ☎87-0101



「見られているかも」
という意識が
犯罪の抑止につながります。